

街路事業の再評価概要書

() は、当初計画時

番号

1

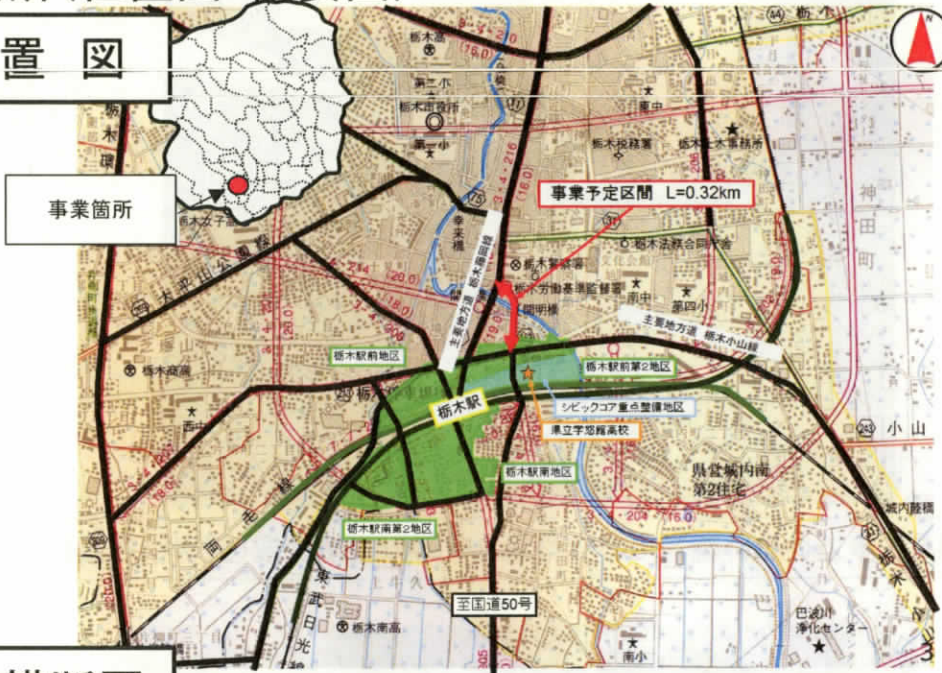
事業主体

栃木県

事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	都市計画道路 3・4・212号 栃木駅東通り		事業箇所名	栃木市 河合町	
事業区間	栃木市室町 ~ 河合町		事業延長	320m	
H19年度事業化		H元年度都市計画決定 〔H13年度変更〕		H19年度用地着手	
H20年度工事着手					
事業期間	(H28) H19 ~ H29		事業 進捗 状況	基準年次：【平成28年度末時点】	
(うち用地補償費)	[14.9 (12.6)億円]			進捗率 [100%]	
全体事業費	20.8 (16.5)億円			既投資事業費 20.1億円 97%	
事業概要					
<p>本都市計画道路は、栃木市街地東側の南北軸を形成するとともに、栃木市中心部と国道50号とを直結する重要な幹線道路である。</p> <p>本事業区間は、主要地方道栃木藤岡線との交差点(室町交差点)から主要地方道栃木小山線との交差点までの320m区間であり、駅前には位置し、周囲には学悠館高校、栃木中央小学校、栃木南中学校があること、栃木中央小学校の通学路にも指定されていることから、通勤通学時間帯には歩行者自転車及び自動車の交通量が多い区間である。</p> <p>しかしながら、現況は歩道が整備されていない上に電柱もあることから、自動車と歩行者自転車が錯綜し、対策が必要な状況にある。また、巴波川に架かる開明橋の老朽化が著しく、通行の安全性に課題がある。</p> <p>さらに、栃木駅周辺地区では、栃木駅周辺連続立体交差事業や栃木駅前・栃木駅南土地区画整理事業、シビックコア地区整備計画等、栃木駅南北の連絡強化、市街地活性化事業が進展しており、本事業区間は市中心部と栃木駅周辺のシビックコア重点整備地区を直結する重要な路線である。</p> <p>このため栃木県は、現道拡幅と電線類地中化を実施し、快適で安全な歩行者自転車空間を確保し、幹線道路としての円滑な通行を確保するとともに、沿線の街並み景観、生活環境の向上を図り、栃木駅周辺市街地の一体化による市街地活性化を支援するものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等					
都市計画法に基づく事業認可期間の延伸					
事業の投資効果					
① 費用対効果分析結果					
		【総便益(B)】		【総費用(C)】	
1) 事業全体		B/C= 1.7 40.8億円		24.6億円	
2) 残事業		B/C= 1.3 1.0億円		0.8億円	
② 事業の整備効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の確保 ・老朽化橋梁の更新 ・交通の円滑化 ・電線類の地中化による都市防災機能の向上、街並み景観の向上 ・市街地活性化の支援 					
事業の進捗状況等					
① 事業の進捗状況					
・用地は100%取得済み					
② 今後の事業進捗の見込み					
・残事業箇所の工事を推進し、平成29年度中の完成を目指す。					
コスト縮減等					
① コスト縮減方策					
・路盤材に再生材を利用					
② 代替案立案等の可能性					
・すでに全ての用地が取得済みであり、本計画が最適である。					
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。			

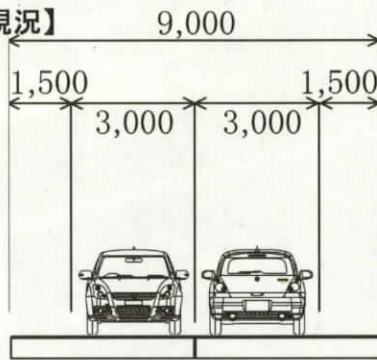
事業箇所(位置図・概要図)

位置図

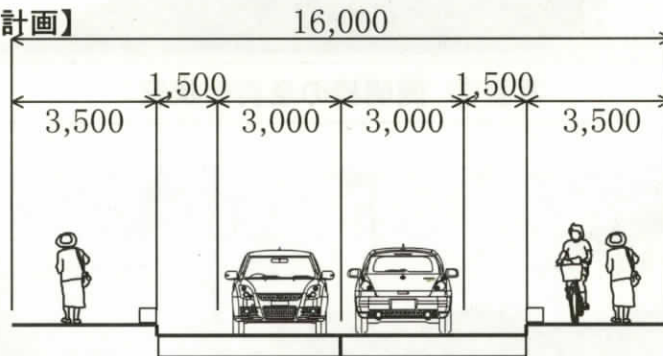


標準横断図

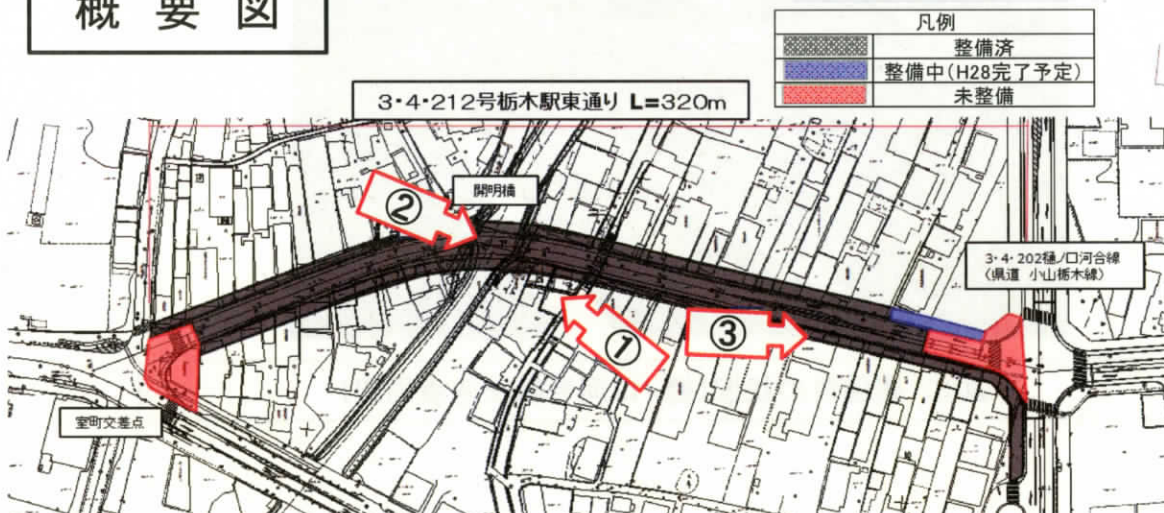
【現況】



【計画】



概要図





写真① 歩道のない現道での歩行者と車両の錯綜状況(開明橋周辺)



写真② 開明橋の老朽化状況



写真③ 整備後の状況(樋ノ口河合線交差点周辺)